

建設業における再生可能エネルギー電力の利用について

(一社) 日本建設業連合会 環境委員会 温暖化対策部会



はじめに	1
1. 会員各社における再生可能エネルギーの使用状況調査について	2
2. 電力事業者における再生可能エネルギーの導入状況について	8
3. 参考資料	20
(1) グリーン電力証書購入ガイドライン	21
(2) J-クレジット制度	22
(3) 非化石証書	23
(4) GPN-GL「電力」契約ガイドライン	24

(一社)日本建設業連合会(以下、「日建連」という)では、2020年10月の菅首相による「2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロ」表明、同年12月の経団連による「2050年カーボンニュートラル実現に向けて」など、政府・業界団体の掲げた方針や目標を受け、2021年4月に「建設業の環境自主行動計画 第7版」を公表し、以下の目標を設定したところです。

【施工段階におけるCO₂排出抑制】

- CO₂排出量原単位を2030~2040年度の早い段階に40%削減を目指す(2013年度比)
- 施工段階におけるCO₂排出量を2050年までに実質ゼロとなるための取組みを推進

上記の目標を達成するための活動の一環として、日建連 環境委員会 温暖化対策部会では、環境委員会構成会社を対象に再生可能エネルギーの使用状況や環境価値の購入といった取組み、大手電力事業者の再生可能エネルギーの導入状況を把握するとともに、その情報を共有することを目的として、本調査結果を取りまとめました。

ご一読いただき、会員各社における今後の電力起因によるCO₂削減の取組みの一助としていただけますと幸いです。

2022年5月
(一社)日本建設業連合会 環境委員会 温暖化対策部会

1. 会員各社における再生可能エネルギーの使用状況調査について

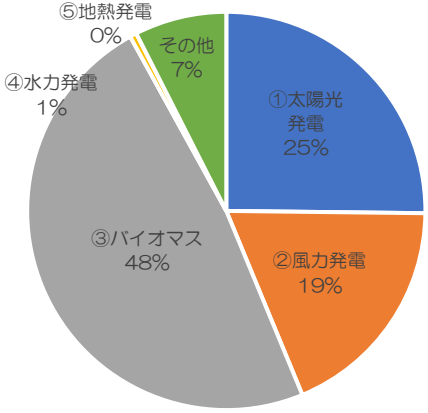
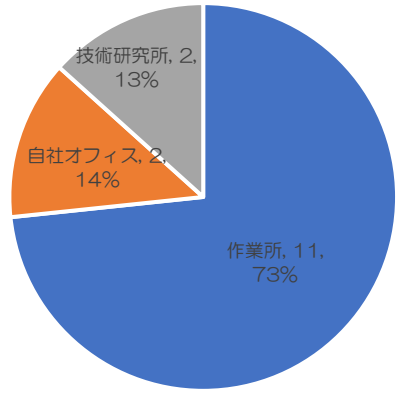
1. 会員各社における再生可能エネルギーの使用状況調査について

(1) 調査の概要

調査名称	自社における再生可能エネルギーの使用状況調査
調査内容	2020年度の実績として使用した再生可能エネルギー由来電力及び再生可能エネルギー価値に関する使用状況に関する調査
調査対象	日建連環境委員会構成会社41社
調査時期	2021年12月17日から12月24日
調査結果	回答のあった37社のうち、19社から使用実績ありの回答を得た

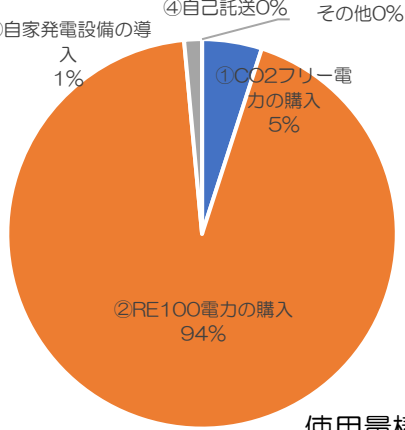
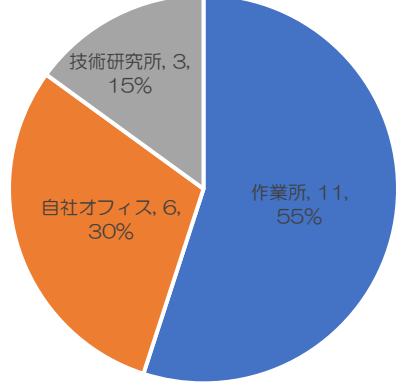
1. 会員各社における再生可能エネルギーの使用状況調査について

(2) 再生可能エネルギーの使用状況①（発電種別）

総使用量	45,755,277kWh（導入会員数12社）																																																		
使用構成比	 <p style="text-align: center;">使用量構成割合</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発電種別</th> <th>導入会員延べ数</th> <th>使用量 (kWh)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①太陽光発電</td> <td>8</td> <td>11,522,634</td> </tr> <tr> <td>②風力発電</td> <td>1</td> <td>8,500,000</td> </tr> <tr> <td>③バイオマス</td> <td>4</td> <td>22,061,787</td> </tr> <tr> <td>④水力発電</td> <td>1</td> <td>252,771</td> </tr> <tr> <td>⑤地熱発電</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3</td> <td>3,418,085</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17</td> <td>45,755,277</td> </tr> </tbody> </table>	発電種別	導入会員延べ数	使用量 (kWh)	①太陽光発電	8	11,522,634	②風力発電	1	8,500,000	③バイオマス	4	22,061,787	④水力発電	1	252,771	⑤地熱発電	0	0	その他	3	3,418,085	合計	17	45,755,277	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発電種別</th> <th>導入会員延べ数</th> <th>使用量 (kWh)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①太陽光発電</td> <td>8</td> <td>11,522,634</td> </tr> <tr> <td>②風力発電</td> <td>1</td> <td>8,500,000</td> </tr> <tr> <td>③バイオマス</td> <td>4</td> <td>22,061,787</td> </tr> <tr> <td>④水力発電</td> <td>1</td> <td>252,771</td> </tr> <tr> <td>⑤地熱発電</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3</td> <td>3,418,085</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17</td> <td>45,755,277</td> </tr> </tbody> </table>	発電種別	導入会員延べ数	使用量 (kWh)	①太陽光発電	8	11,522,634	②風力発電	1	8,500,000	③バイオマス	4	22,061,787	④水力発電	1	252,771	⑤地熱発電	0	0	その他	3	3,418,085	合計	17	45,755,277
発電種別	導入会員延べ数	使用量 (kWh)																																																	
①太陽光発電	8	11,522,634																																																	
②風力発電	1	8,500,000																																																	
③バイオマス	4	22,061,787																																																	
④水力発電	1	252,771																																																	
⑤地熱発電	0	0																																																	
その他	3	3,418,085																																																	
合計	17	45,755,277																																																	
発電種別	導入会員延べ数	使用量 (kWh)																																																	
①太陽光発電	8	11,522,634																																																	
②風力発電	1	8,500,000																																																	
③バイオマス	4	22,061,787																																																	
④水力発電	1	252,771																																																	
⑤地熱発電	0	0																																																	
その他	3	3,418,085																																																	
合計	17	45,755,277																																																	
主な使用場所		<table border="1"> <tbody> <tr> <td>作業所</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>自社オフィス</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>技術研究所</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>	作業所	11	自社オフィス	2	技術研究所	2	合計	15	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>作業所</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>自社オフィス</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>技術研究所</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>	作業所	11	自社オフィス	2	技術研究所	2	合計	15																																
作業所	11																																																		
自社オフィス	2																																																		
技術研究所	2																																																		
合計	15																																																		
作業所	11																																																		
自社オフィス	2																																																		
技術研究所	2																																																		
合計	15																																																		
会員企業の 主な意見	<p>【太陽光発電の具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ソーラーシステムハウス スタンドタイプ NETIS No.CB-120016VE ・休憩所の照明、エアコンの使用、計測機器の充電には問題なく対応可能。 ・建設現場でも地球環境問題、エネルギー問題に対応し始めているというイメージアップにはなっている。 ・課題：積雪寒冷地での使用（今回、降雪前に使用終了）。 																																																		

1. 会員各社における再生可能エネルギーの使用状況調査について

(2) 再生可能エネルギーの使用状況②（電力種別）

総使用量	47,062,010kWh（導入会員数14社）																																												
使用構成比	 <p>使用量構成割合</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>電力種別</th> <th>導入会員延べ数</th> <th>使用量 (kWh)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①CO₂フリー電力の購入</td> <td>5</td> <td>2,338,292</td> </tr> <tr> <td>②RE100電力の購入</td> <td>5</td> <td>44,027,728</td> </tr> <tr> <td>③自家発電設備の導入</td> <td>11</td> <td>695,990</td> </tr> <tr> <td>④自己託送</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>21</td> <td>47,062,010</td> </tr> </tbody> </table>	電力種別	導入会員延べ数	使用量 (kWh)	①CO ₂ フリー電力の購入	5	2,338,292	②RE100電力の購入	5	44,027,728	③自家発電設備の導入	11	695,990	④自己託送	0	0	その他	0	0	合計	21	47,062,010	<table border="1"> <thead> <tr> <th>電力種別</th> <th>導入会員延べ数</th> <th>使用量 (kWh)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①CO₂フリー電力の購入</td> <td>5</td> <td>2,338,292</td> </tr> <tr> <td>②RE100電力の購入</td> <td>5</td> <td>44,027,728</td> </tr> <tr> <td>③自家発電設備の導入</td> <td>11</td> <td>695,990</td> </tr> <tr> <td>④自己託送</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>21</td> <td>47,062,010</td> </tr> </tbody> </table>	電力種別	導入会員延べ数	使用量 (kWh)	①CO ₂ フリー電力の購入	5	2,338,292	②RE100電力の購入	5	44,027,728	③自家発電設備の導入	11	695,990	④自己託送	0	0	その他	0	0	合計	21	47,062,010
電力種別	導入会員延べ数	使用量 (kWh)																																											
①CO ₂ フリー電力の購入	5	2,338,292																																											
②RE100電力の購入	5	44,027,728																																											
③自家発電設備の導入	11	695,990																																											
④自己託送	0	0																																											
その他	0	0																																											
合計	21	47,062,010																																											
電力種別	導入会員延べ数	使用量 (kWh)																																											
①CO ₂ フリー電力の購入	5	2,338,292																																											
②RE100電力の購入	5	44,027,728																																											
③自家発電設備の導入	11	695,990																																											
④自己託送	0	0																																											
その他	0	0																																											
合計	21	47,062,010																																											
主な使用場所		<table border="1"> <tbody> <tr> <td>作業所</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>自社オフィス</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>技術研究所</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	作業所	11	自社オフィス	6	技術研究所	3	合計	20	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>作業所</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>自社オフィス</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>技術研究所</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	作業所	11	自社オフィス	6	技術研究所	3	合計	20																										
作業所	11																																												
自社オフィス	6																																												
技術研究所	3																																												
合計	20																																												
作業所	11																																												
自社オフィス	6																																												
技術研究所	3																																												
合計	20																																												
会員企業の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ ①CO₂フリー電力の購入では、4社中2社、②RE100電力の購入では、5社中4社が従来電力ではなく、新電力を利用。 ■ ③自家発電設備の導入については、11社全社が太陽光発電を導入。 ■ 「その他」の1事例は、作業所におけるFIT電力の導入。 																																												

1. 会員各社における再生可能エネルギーの使用状況調査について

(3) 再生可能エネルギー価値の購入状況

総購入量	46,277,445kWh（導入会員数8社）																																						
購入構成比	<p>購入量構成割合</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>購入メニュー</th> <th>導入会員延べ数</th> <th>購入量 (kWh)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①グリーン電力証書の購入</td> <td>4</td> <td>20,972,793</td> </tr> <tr> <td>②再エネ由来クレジットの購入</td> <td>1</td> <td>2,242,000</td> </tr> <tr> <td>③非化石証書の購入※</td> <td>3</td> <td>23,062,652</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8</td> <td>46,277,445</td> </tr> </tbody> </table>	購入メニュー	導入会員延べ数	購入量 (kWh)	①グリーン電力証書の購入	4	20,972,793	②再エネ由来クレジットの購入	1	2,242,000	③非化石証書の購入※	3	23,062,652	その他	0	0	合計	8	46,277,445	<table border="1"> <thead> <tr> <th>購入メニュー</th> <th>導入会員延べ数</th> <th>購入量 (kWh)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①グリーン電力証書の購入</td> <td>4</td> <td>20,972,793</td> </tr> <tr> <td>②再エネ由来クレジットの購入</td> <td>1</td> <td>2,242,000</td> </tr> <tr> <td>③非化石証書の購入※</td> <td>3</td> <td>23,062,652</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8</td> <td>46,277,445</td> </tr> </tbody> </table>	購入メニュー	導入会員延べ数	購入量 (kWh)	①グリーン電力証書の購入	4	20,972,793	②再エネ由来クレジットの購入	1	2,242,000	③非化石証書の購入※	3	23,062,652	その他	0	0	合計	8	46,277,445
購入メニュー	導入会員延べ数	購入量 (kWh)																																					
①グリーン電力証書の購入	4	20,972,793																																					
②再エネ由来クレジットの購入	1	2,242,000																																					
③非化石証書の購入※	3	23,062,652																																					
その他	0	0																																					
合計	8	46,277,445																																					
購入メニュー	導入会員延べ数	購入量 (kWh)																																					
①グリーン電力証書の購入	4	20,972,793																																					
②再エネ由来クレジットの購入	1	2,242,000																																					
③非化石証書の購入※	3	23,062,652																																					
その他	0	0																																					
合計	8	46,277,445																																					
主な使用場所		<table border="1"> <tbody> <tr> <td>作業所</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>自社オフィス</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>技術研究所</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	作業所	2	自社オフィス	3	技術研究所	2	その他	1	合計	8	※非化石証書：参考資料p23参照																										
作業所	2																																						
自社オフィス	3																																						
技術研究所	2																																						
その他	1																																						
合計	8																																						
会員企業の主な意見	■グリーン電力証書は本店の年間電力使用分をあて、CO ₂ 排出をオフセットしている。ただし、従来使用電力料金に環境価値分の証書を購入（通常料金に加算）するためコストアップとなっている																																						

1. 会員各社における再生可能エネルギーの使用状況調査について

(4) 会員企業のその他ご意見

効果	■再エネ電気の利用する拠点や作業所では、脱炭素意識が向上する傾向にある。
課題	■従来電力（旧一般電力の一般電気）よりも再エネ電気が高くなるケースと安くなるケースがある。 ■JVスポンサー現場で再エネ電気を利用する場合、JVサブへの説明が必要となる。 JVサブでは脱炭素よりもコストが優先されるケースが多く、再エネ電気が高くなる場合は、説得が困難。 ■今後、再エネ電力の需要が多くなることで、電力不足・価格上昇などについて懸念がある。 ■燃料でも同様だが、従来電力と分けた集計が必要なため、現段階ではひと手間かかる。
その他	■再生可能エネルギーの使用により、CO ₂ 削減効果が期待できることから、今後会社の取組みとして推進していく。 ■施工段階のCO ₂ 排出量のうち電力使用による発生量が約2割を占めるので、2026年を目標に再エネへの移行を急ぐ。

2. 電力事業者における再生可能エネルギー導入状況

全てWEB等の公開情報による（2021年11月末時点）

2. 電力事業者における再生可能エネルギー導入状況

2-1. 大手電力事業者における再生可能エネルギー導入状況

北海道電力

北海道電力URL：hepco.co.jp

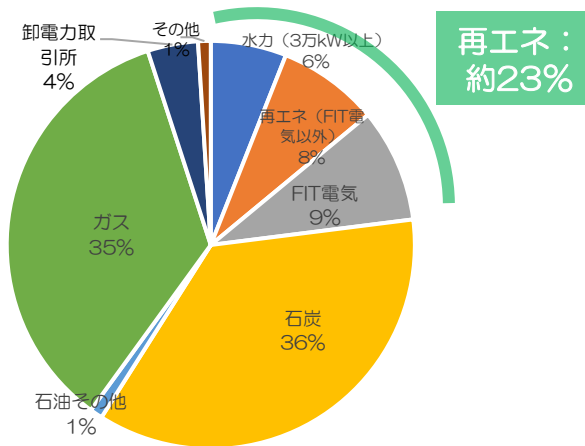
総販売電力量	26,503GWh																				
電源構成比	<div style="display: flex; align-items: center;"><div style="flex: 1;"><table border="1"><caption>電源構成比 (Pie Chart Data)</caption><thead><tr><th>電源種別</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>石炭</td><td>38%</td></tr><tr><td>石油</td><td>8%</td></tr><tr><td>LNG</td><td>11%</td></tr><tr><td>卸電力取引所</td><td>13%</td></tr><tr><td>その他</td><td>11%</td></tr><tr><td>水力 (3万kW以上)</td><td>4%</td></tr><tr><td>再エネ (FIT電気以外)</td><td>7%</td></tr><tr><td>FIT電気</td><td>8%</td></tr><tr><td>再エネ (合計)</td><td>約19%</td></tr></tbody></table></div><div style="flex: 1; padding-left: 20px;"><p>水力 : 1,651,070kW</p><p>2020年度 排出係数 調整前：0.601kg-CO₂/kWh 調整後：0.549kg-CO₂/kWh</p><p>「再生可能エネルギーの固定価格買取制度 (FIT制度) 変更のお知らせについて」を掲載</p></div></div>	電源種別	割合 (%)	石炭	38%	石油	8%	LNG	11%	卸電力取引所	13%	その他	11%	水力 (3万kW以上)	4%	再エネ (FIT電気以外)	7%	FIT電気	8%	再エネ (合計)	約19%
電源種別	割合 (%)																				
石炭	38%																				
石油	8%																				
LNG	11%																				
卸電力取引所	13%																				
その他	11%																				
水力 (3万kW以上)	4%																				
再エネ (FIT電気以外)	7%																				
FIT電気	8%																				
再エネ (合計)	約19%																				
中長期目標	CO ₂ 排出量を2013年度に比べ半減 (1,000万t以上低減) することを目指し、電気事業低炭素社会協議会における目標 (2030年度：0.37kg-CO ₂ /kWh程度) の達成に言及している																				
エネルギーミックスにおける再エネの位置付け	再生可能エネルギーのさらなる活用に向け、水力発電の新得発電所 (発電出力23,100kW) を建設中であり、2022年6月に運転開始予定。また既設の発電所の水車更新時に高効率のものに取り替えることで、出力向上を図る (虻田発電所で2023年4月に1,290kW増加予定) 計画を推進中																				
再エネ小売プラン	<ul style="list-style-type: none">・カーボンFプラン (法人)・カーボンFプランプレミアム (法人)																				

2. 電力事業者における再生可能エネルギー導入状況

2-1. 大手電力事業者における再生可能エネルギー導入状況

東北電力

東北電力URL：tohoku-epco.co.jp

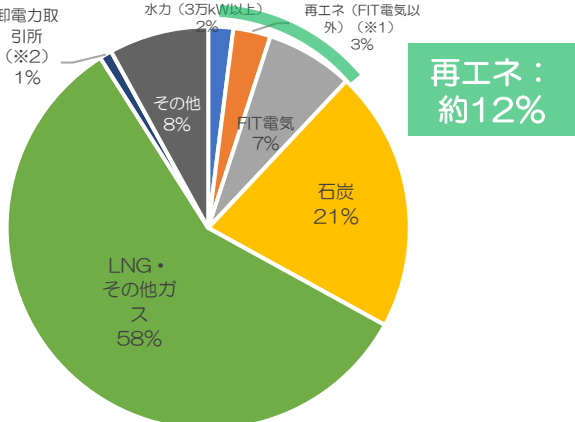
総販売電力量	82,523GWh
電源構成比	 <p>再エネ： 約23%</p> <p>水力 : 7.897GWh 新エネ等 : 703GWh 揚水動力 : ▲107GWh</p> <p>2020年度 排出係数 調整前 : 0.476kg-CO₂/kWh 調整後 : 0.457kg-CO₂/kWh</p>
中長期目標	<ul style="list-style-type: none"> 安全性を前提に、環境性、経済性、安定供給の同時達成の「東北電力グループ「カーボンニュートラルチャレンジ2050」を策定 東北電力グループ中長期ビジョン「よりそうnext」により、電力供給事業の抜本的な構造改革を通じた収益拡大と、スマート社会実現事業の早期収益化に言及
エネルギーミックスにおける再エネの位置付け	風力発電を主軸に200万kW 開発の早期達成と更なる拡大を目指す旨言及
再エネ小売プラン	<ul style="list-style-type: none"> よりそう再エネ電気（特高・高圧） 水カプレミアム（岩手県，秋田県，山形県の企業対象。再エネの地産地消）
FIT後の施策	「よりそうeねっと」の利便性向上を発表

2. 電力事業者における再生可能エネルギー導入状況

2-1. 大手電力事業者における再生可能エネルギー導入状況

東京電力

東京電力URL：tepcoco.jp

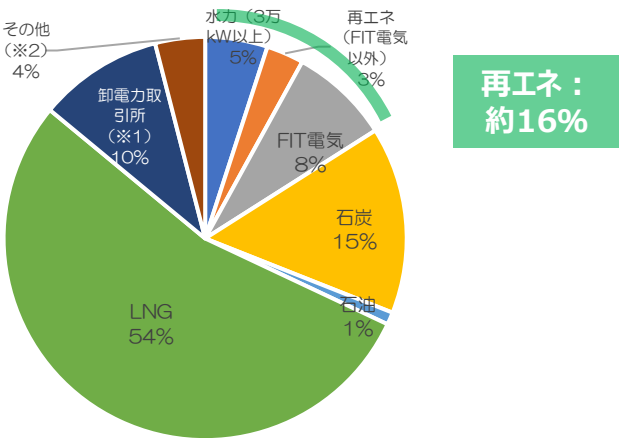
総販売電力量	<ul style="list-style-type: none"> ・204,484GWh [東京電力グループ（連結）] ・192,866GWh [東京電力エナジーパートナー] 	
電源構成比 （東京電力エナジーパートナー）	 <p>再生エネ： 約12%</p>	<p>※1 太陽光・風力・水力（3万kW未満）・バイオマスの内、再生エネ指定の非化石証書を使用した電力。 ※2 卸電力取引所から調達した電気には水力、火力、原子力、FIT電気、再生可能エネルギーなどが含まれる。</p> <p>2020年度 排出係数 調整前：0.441kg-CO₂/kWh 調整後：0.434kg-CO₂/kWh</p>
中長期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・東京電力リニューアブルパワー：2030年度、国内外で600～700万kW程度の再生エネ新規開発（うち国内では洋上風力200～300万kW） 	
エネルギーミックスにおける再生エネの位置付け	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーとクリーン燃料（水素・アンモニア混焼等）によるゼロエミッション火力との相互補完 [JERA/東京電力燃料&パワー] ・再生可能エネルギー（水力、風力、太陽光）の主力電源化を推進、海外水力事業を本格展開 [東京電力リニューアブルパワー] 	
再生エネ小売プラン	<ul style="list-style-type: none"> ・アクアプレミアム（法人）、アクアエナジー100（個人） ・TEPCOグリーン+ガス（法人・東京地区） 	

2. 電力事業者における再生可能エネルギー導入状況

2-1. 大手電力事業者における再生可能エネルギー導入状況

中部電力

中部電力URL : chuden.co.jp

総販売電力量	・117,145GWh [グループ合計] ・110,729GWh [中部電力ミライズ]
電源構成比	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>※1 この電気には、水力、火力、原子力、FIT電気、再生可能エネルギーなどが含まれる</p> <p>※2 他社から調達している電気で発電所が特定できないものについては、「その他」の取扱いとしている</p> <p>2020年度 排出係数 調整前：0.406kg-CO₂/kWh 調整後：0.379kg-CO₂/kWh</p> </div> </div>
中長期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・2030年頃に200万kW以上の新規電源開発 ・販売電力由来のCO₂排出量を13年度比50%以上削減（2030年）
エネルギーミックスにおける再エネの位置付け	再生可能エネルギー電源の加速度的な開発 <ul style="list-style-type: none"> ・中期：水力・バイオマス・陸上風力・太陽光の新設 ・長期：洋上風力・地熱も積極的に開発
再エネ小売プラン	CO ₂ フリーメニュー（法人、個人）

2. 電力事業者における再生可能エネルギー導入状況

2-1. 大手電力事業者における再生可能エネルギー導入状況

北陸電力

北陸電力URL : rikuden.co.jp

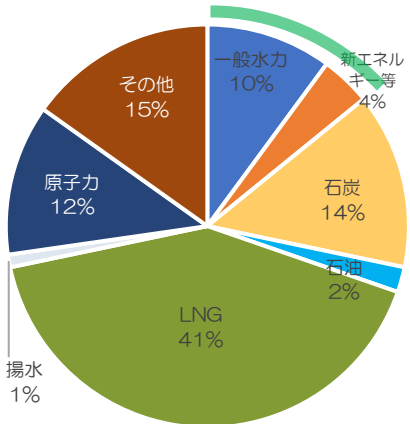
<p>総販売電力量</p>	<p>32,560GWh</p>	
<p>電源構成比</p>	<p>再エネ：約32%</p>	<p>水力 : 6,159GWh 2020年度 排出係数 調整前 : 0.468kg-CO₂/kWh 調整後 : 0.465kg-CO₂/kWh FIT再生エネ増加による出力変動の影響懸念には言及なし</p>
<p>中長期目標</p>	<p>CSRレポート2021 再生可能エネルギー発電電力量を2030年度までに +20億kWh/年 (2018年度対比)</p>	
<p>エネルギーミックスにおける再エネの位置付け</p>	<p>電力の安定供給および脱炭素社会の実現という責務を果たすため、エネルギー資源の有効活用や再生可能エネルギーの導入拡大など、より一層の電源の多様化に取り組む。 「S+3E」の観点から発電方法毎の特性を活かしたバランス良い組み合わせが不可欠</p>	
<p>再エネ小売プラン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アクアECOプラン (低圧) ・グリーン特約 (アクアグリーン) (特高・高圧) 	

2. 電力事業者における再生可能エネルギー導入状況

2-1. 大手電力事業者における再生可能エネルギー導入状況

関西電力

関西電力URL：kepcoco.jp

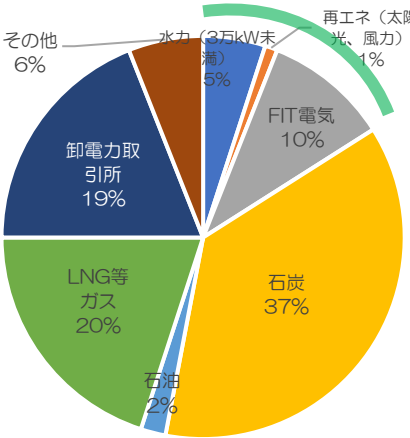
総販売電力量	117,642GWh
電源構成比	 <p>再エネ： 約14%</p> <p>水力：12,800GWh 揚水動力：▲1,400GWh</p> <p>2020年度 排出係数 調整前：0.362kg-CO₂/kWh 調整後：0.350kg-CO₂/kWh</p> <p>FIT再生エネ増加による出力変動対策への協力依頼等、具体的に明示</p>
中長期目標	再生可能エネルギーの設備容量を、2030年代に600万kW（国内外新規開発200万kW以上）
エネルギーミックスにおける再エネの位置付け	原子力推進、高効率化火力と共に、温室効果ガス削減に向けた施策の1つ（ベストミックス）
再エネ小売プラン	<ul style="list-style-type: none">・再エネECOプラン（低圧）・再エネECOプランプレミアム（法人）
FIT後の施策	卒FITのPV電力買取りサービスを発表。2019年11月より

2. 電力事業者における再生可能エネルギー導入状況

2-1. 大手電力事業者における再生可能エネルギー導入状況

中国電力

中国電力URL：energia.co.jp

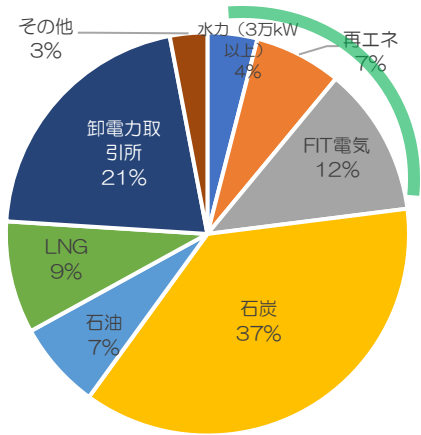
総販売電力量	53,560GWh
電源構成比	 <p>再エネ：約25%</p> <p>水力 : 3,480GWh 揚水動力 : ▲1,180GWh</p> <p>2020年度 排出係数 調整前 : 0.531kg-CO₂/kWh 調整後 : 0.521kg-CO₂/kWh</p> <p>FIT再生エネ増加による出力制御枠到達等について詳細に開示</p>
中長期目標	2030年のエネルギーミックス： 再エネ24%、石油3%、LNG27%、石炭26%、原子力20%
エネルギーミックスにおける再エネの位置付け	再生可能エネルギーを成長領域の一つと位置付け、積極的な導入に取り組む
再エネ小売プラン	<ul style="list-style-type: none"> ・ぐっとずっと。再エネ・グリーンプラン ・再エネ特約 ・再エネ特約プレミアム（法人）

2. 電力事業者における再生可能エネルギー導入状況

2-1. 大手電力事業者における再生可能エネルギー導入状況

四国電力

四国電力URL：yonden.co.jp

<p>総販売電力量</p>	<p>27,830GWh（卸販売を含む）</p>	
<p>電源構成比 （設備）</p>	 <p>再エネ： 約23%</p>	<p>水力：2,404GWh</p> <p>2020年度 排出係数 調整前：0.550kg-CO₂/kWh 調整後：0.569kg-CO₂/kWh</p> <p>FIT再生エネ増加による出力制御について詳細に開示</p>
<p>中長期目標</p>	<p>「電気事業全体で2030年度に0.37kg-CO₂/kWh程度」を目指す。非化石電源比率において、「2030年度に44%以上」を目指す</p>	
<p>エネルギーミックスにおける再生エネの位置付け</p>	<p>安全確保を大前提とした原子力の最大活用と、「2050年カーボンニュートラル」へ挑戦するために再生エネの主力電力化、更なる導入拡大を行う</p>	
<p>再生エネ小売プラン</p>	<ul style="list-style-type: none"> 再生エネプレミアムプラン 再生エネPlus+ 	

2. 電力事業者における再生可能エネルギー導入状況

2-1. 大手電力事業者における再生可能エネルギー導入状況

九州電力

九州電力URL：kyuden.co.jp

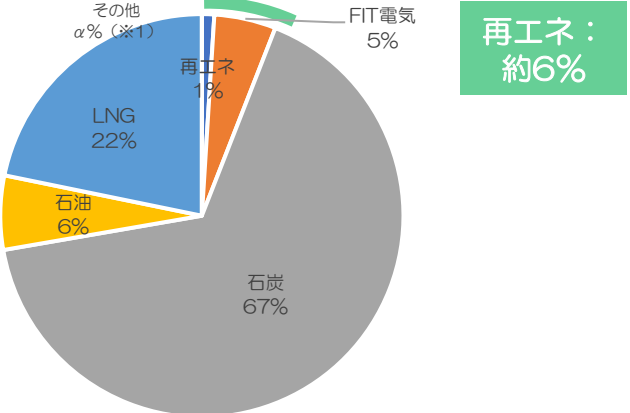
総販売電力量	85,800GWh
電源構成比	<p>再エネ：約22%</p> <p>2020年度 排出係数 調整前：0.365kg-CO₂/kWh 調整後：0.479kg-CO₂/kWh FIT再生エネ増加による出力制御について詳細に開示</p>
中長期目標	排出原単位：電事連の2030年目標 0.37kg-CO ₂ /kWh 再エネ：2030年までに、九電グループとして地熱や水力を中心に、国内外で500万kW（現状+230万kW）の開発を目指す
エネルギーミックスにおける再エネの位置付け	再エネは積極的に開発することに言及しつつ原子力や火力の効率化とともにバランス重視
再エネ小売プラン	<ul style="list-style-type: none">再エネECO極（きわみ）（法人）再エネECOプラス（特高・高圧）

2. 電力事業者における再生可能エネルギー導入状況

2-1. 大手電力事業者における再生可能エネルギー導入状況

沖縄電力

沖縄電力URL: okiden.co.jp

総販売電力量	7,137GWh
電源構成比	 <p>再エネ：約6%</p> <p>※1 構成比が1%未満となっているため「α」で表示</p> <p>2020年度 排出係数 調整前：0.737kg-CO₂/kWh 調整後：0.705kg-CO₂/kWh</p> <p>FIT再生エネ増加による出力変動分は火力発電などで調整し、需要と供給のバランスを取っている</p>
中長期目標	<p>2030年：▲26%（2005年度比）再エネ導入+10万kW(PV-TPO事業5万kW、大型風力5万kW)</p> <p>2050年：CO₂排出ネットゼロ 再エネ最大限導入（PV-TPO事業拡大、蓄電池活用した大型再エネの導入）</p>
エネルギーミックスにおける再エネの位置付け	<p>地理や地形的に化石燃料に頼らざるを得ないが、「火力電源のCO₂排出削減」と共に「再エネ主力化」を掲げCO₂排出ネットゼロを目指す</p>
再エネ小売プラン	<ul style="list-style-type: none"> ・うちな～CO₂フリーメニュー（特高・高圧） ・沖縄新エネ開発(株)で小売ライセンス取得

2. 電力事業者における再生可能エネルギー導入状況

2-2. 新電力事業者における電力小売事業について

「電力の小売全面自由化」により、様々な事業者が電気の小売市場に参入できることとなり、電力事業者選択の幅が広まるようになりました。電気の小売事業への参入者が増えることで市場が活性化し、様々な料金メニュー・サービスを比較しながら購入したり、再生可能エネルギーを中心に電気を供給する事業者から電気を購入することも可能となります。

経済産業省 資源エネルギー庁HP
新電力小売事業について

https://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/electric/electricity_liberalization/merit/

登録小売電気事業者一覧

https://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/electric/summary/retailers_list/

3. 參考資料

3. 参考資料

(1) グリーン電力証書購入ガイドライン

グリーン購入ガイドラインは、「グリーン購入ネットワーク（GPN）」において「グリーン購入基本原則」に基づき、製品・サービスを購入する際に考慮すべき環境配慮事項をリストアップし、策定されたガイドラインです。

用途に応じた円滑な証書の購入を促進することを目的に策定されたガイドラインとなっております。

「グリーン電力証書」購入ガイドライン
https://www.gpn.jp/assets/pdf/gpn_gl18.pdf

発行元：グリーン購入ネットワーク（GPN）
<https://www.gpn.jp/guideline/green>

3. 参考資料

(2) J-クレジット制度

J-クレジット制度とは、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO₂等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO₂等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

この制度は、国内クレジット制度とオフセット・クレジット（J-VER）制度が発展的に統合した制度で、国により運営されています。

本制度により創出されたクレジットは、経団連カーボンニュートラル行動計画の目標達成やカーボン・オフセットなど、様々な用途に活用できます。

J-クレジット購入方法

<https://japancredit.go.jp/market/buy/>

J-クレジット制度

<https://japancredit.go.jp/about/outline/#about>

3. 参考資料

(3) 非化石証書

CO₂排出量の少ない非化石エネルギー源から発電された電気は、電気としての価値のほか環境配慮の価値があり、このうち環境配慮の価値を証書化したものが「非化石証書」と呼ばれます。

電力事業者は、「非化石価値取引市場」において非化石証書の取引を行いますが、証書を購入した分だけ自らが販売する電気のCO₂排出量が少なくなるとみなされるため、このような電力事業者から電気を購入することもCO₂削減に向けた有効な手段の一つです。

経済産業省 資源エネルギー庁HP

<https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/hikasekishousho.html>

3. 参考資料

(4) GPN-GL「電力」契約ガイドライン

GPN-GL20「電力」契約ガイドラインは、「グリーン購入ネットワーク（GPN）」において電力を契約する際に環境面で考慮すべき重要な観点をリストアップし、策定されたガイドラインです。

事業所、行政施設及び一般家庭における低圧、高圧・特別高圧の電力プランを対象にできるだけ環境への負荷の小さいサービスを選択できるようまとめられたガイドラインとなっております。

GPN-GL20「電力」契約ガイドライン

https://www.gpn.jp/assets/pdf/gpn_g20.pdf

発行元：グリーン購入ネットワーク（GPN）

<https://www.gpn.jp/guideline/green>